

予防医学を「日常」に——。

健康 かながわ

<https://www.yobouigaku-kanagawa.or.jp>

SPRING
2025

VOL.
645



70周年

特別号

創立からの軌跡



予防医学を「日常」に――。

健康かながわ

SPRING
2025

VOL. 645

<https://www.yobouigaku-kanagawa.or.jp>

INDEX

01 | 理念、基本方針の一新

02 | 70周年のあいさつ

公益財団法人 神奈川県予防医学協会 代表理事
根本 克幸

03 | 祝辞

神奈川県知事
黒岩 祐治

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会 会長
相澤 好治

公益財団法人 予防医学事業中央会 理事長
櫻林 郁之介

06 | 協会70年の歩み

08 | 協会の仕事

医師／診療放射線技師／健康運動指導士／保健師／企画部
／情報システム部／業務部／広報(健康創造部)／臨床検査
技師(代謝異常検査室・生理機能検査)／看護部／環境科学
部(作業環境測定)／運営部事務職(健診受付・電話予約受
付)／検診事務部／情報処理部／総務部(総務課・経理課)

22 | 協会の先達

森 雄一

24 | 移転のお知らせ

2026年早春 協会はみなとみらいエリアへ移転します

26 | 社会貢献活動

- ◎禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議
- ◎ピンクリボンかながわ
- ◎スモークフリー推進かながわ基金

28 | 職員が考える

協会のこれから

「健康かながわ」の休止について

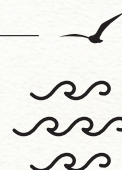
1968年に創刊した「健康かながわ」は、おかげさまで、この
たび645号を発行することができました。長年にわたりご
愛読いただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。
「健康かながわ」は、発行を一旦おやすみすることにいたしま

した。リニューアルを検討する期間とし、新装「健康かなが
わ」として、お目にかかることを目指しています。
協会に関する最新情報は、公式SNSを中心に発信してま
いります。



【著作権について】本誌記載の記事・写真・イラスト・レイアウトの無断転載・複写を禁じます。

【個人情報の取り扱いについて】当協会では、本誌を送付している皆さまについて、送付に必要な情報（氏名・住所・所属など）を送付名簿として保持しております。この個人情報当協会の個人情報保護方針に基づき、厳重な管理のもとに運用しております。送付名簿から削除・訂正を希望される場合には、健康創造部企画課（☎045-641-8505）までご連絡ください。



2024年度より理念、基本方針を一新いたしました。
新たな理念のもと、職員一同、一層の努力をしていく所存です。

理念

広く社会に貢献するため
私たちは誰からも選ばれる
健康づくりのパートナーをめざします

基本方針

- 1.新しい技術のもと、健康づくりのためのイノベーションを追求します
- 2.安全で心地よい健康支援サービスを提供します
- 3.一人ひとりの違いを大切に、協力して成長できる職場をめざします
- 4.責任ある行動を取り、環境の保全に努めます
- 5.公益法人として、未来に向け発展するために健康経営®を進めます

※健康経営®は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です



創立70周年を迎えて

2025年、公益財団法人神奈川県予防医学協会は、前身である神奈川県寄生虫予防協会時代を含め創立70周年という節目を迎えます。

こうして70年という長きにわたり、神奈川県民の健康増進と福祉の向上に寄与することを目指して活動できましたのは、ひとえに協会をご利用くださる企業、団体、個人の皆様のご厚情と行政をはじめ学会、医師会等の各方面にわたる関係各位のご指導、ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

協会は、寄生虫予防の草の根運動からはじまりました。創立当初の志と信念を、予防医学へと引き継ぎ、2012年4月には、「広く神奈川県民の疾病の予防と健康の保持増進を図るため、各種の健康診断等による疾病の早期発見・早期治療と

健康支援及び医学知識に基づいた予防医療活動を行う」ことで公益財団法人の認定をいただきました。

現在、日本では少子高齢化が進み、人生100年時代を迎えています。

協会は、時代が求める健康への期待に応えるため、創立70周年を契機に新たな理念を掲げ、新施設への移転を計画しています。これからも県民の健康と福祉に寄与できる総合健康支援機関として社会に貢献してまいります。

今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人
神奈川県予防医学協会
代表理事

根本 克幸



70周年

祝辞

神奈川県予防医学協会が創立70周年を迎えられたことを、心からお喜び申し上げます。

貴会は、1955年の創立以来、健康診断による疾病の早期発見や健康支援、医学知識に基づいた予防医療活動など、総合健康支援活動に取り組まれ、県民の健康の保持増進に大きな貢献をしてこられました。歴代の代表理事はじめ役員の皆様の御尽力に心から敬意を表します。

さて、超高齢社会を迎えている中、子どもから高齢者まで、慣れ親しんだ地域で誰もが元気に生き生きとくらす社会の構築が求められています。

そこで、本県では、超高齢社会でも持続可能な「いのちが輝き、誰もが元気で長生きできる神奈川」の実現をめざし、ライフステージに応じて「食・運動・社

会参加」の3つを柱とする未病改善による健康寿命の延伸や、持続可能で多様化する医療ニーズに応じた質の高い保健・医療の提供、地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組んでいるところです。

県のこうした取組も、時代が必要とする健康ニーズに応えるべく取り組んでおられる皆様のお力添えなくしては、大きな成果を上げることはできません。

皆様には、今後とも、県民の健康の保持増進に御尽力いただくとともに、県の取組にもお力添えを賜るよう、お願い申し上げます。

結びに、神奈川県予防医学協会のますますの御発展を心から祈念して、私のあいさつといたします。

神奈川県知事

黒岩祐治



70周年
祝辞

この度、貴協会が創立70周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。日頃から全国労働衛生団体連合会（全衛連）の運営にご協力頂き感謝しています。全衛連は、労働安全衛生法に基づく健康診断、保健指導、産業医による職場改善指導などを実施する労働衛生機関の集まりです。全衛連は、会員機関の技術とサービスの一層の向上を図ることにより、働く人の健康と企業の産業保健活動をサポートしています。

貴協会からは、根本克幸代表理事の下、北見護専務理事が全衛連に理事として参加して頂いています。貴協会は、労働衛生機関として精度の高い健康診断をはじめ、健康教育、作業環境測定など労働衛生全般にわたり神奈川県民の健康増進と福祉の向上に寄与されています。

小職は2021年度から現職を務めていますが、2007年度から2021年度まで貴協会の理事をさせて頂きました。当時は土屋尚会長が理事長を務め、理事会を仕切っておられ、職員の皆さんがよい緊張感を持って参加されている印象がありました。

貴協会が今後も、益々のご発展を遂げて、国民の健康増進に貢献して頂くよう祈念しております。

公益社団法人
全国労働衛生団体連合会
会長

相澤好治



70周年

祝辞

創立70周年を心からお慶び申し上げます。
公益財団法人神奈川県予防医学協会は、1955年1月に神奈川県寄生虫予防協会として創立されました。そして、同年9月には、日本寄生虫予防会を東京都寄生虫予防協会他の8団体とともに設立し、同予防会の神奈川県支部となりました。まさに、私共、予防医学事業中央会の前身団体である日本寄生虫予防会が歩んできた歴史そのものであります。寄生虫予防は、戦後の混乱期に始まった寄生虫撲滅のための“草の根運動”に根差しており、寄生虫の検査と衛生思想の普及を柱にした活動を行いました。

その後、寄生虫予防から健康診断と健康教育を柱とした予防医学活動を行う財団法人神奈川県予防医学協会が1964年3月に設立され、1966年12月に本会の設立と同時に神奈川県支部になりました。

貴会は、胃がん検診をはじめとする各種がん検診を神奈川県内で先駆的に行うとともに、児童・生徒の腎臓病検診や心臓病検診、企業従業員の健康診断等を幅

広く行い、新生児の先天性代謝異常検査も先進的に行うなど、神奈川県民の健康増進と福祉の向上に大きな役割を果たしてこられました。

また、本会の設立当初から本会に対して様々な面で支えていただいております。具体的には、予防医学事業推進全国大会や全国予防医学技術研究会を複数回開催して頂くとともに、根本理事長には本会の常務理事に就任してご指導いただき、各種委員にも多くの役職員の方にご協力いただいております。感謝の念に堪えません。

貴会の70年間は、常に本会のグループの先駆的な支部として存在してこられました。これからも本会グループの範として、予防医学運動を展開されることを心から祈念しております。

公益財団法人
予防医学事業中央会
理事長

櫻林 郁之介





協会70年の歩み

▶ はじめの一步

1955年1月24日、神奈川県寄生虫予防協会が任意団体として発足。寄生虫予防が、70年のはじめの一步でした。当時は、場所も、お金もなく、どうにか借りた県衛生研究所の一隅で、検査を行いました。はじめて検査室を構えたのは1957年、初代理事長宅の庭先でした。寄生虫検査から始まった歩みは、その後、児童生徒腎臓病検診、消化器検診へと範囲を広げ、1964年に財団法人神奈川県予防医学協会を設立、2012年に、公益財団法人として認可されました。

▶ 検診車、発進

1963年、横浜市中区長者町に中央診療所を開設し、胃がん検診を開始しました。翌年には、協会初の胃がん検診車「長寿号」が本格稼働。検診車は、中央診療所から離れた地域へも赴くことができ、早期発見と治療促進に尽力しました。また、検診車には検診を受ける機会を増やし、健康への意識を高める狙いがありました。現在、胃がん検診車は「長寿29号」に。胃がん検診車の他に、子宮がん検診車、マンモグラフィ検診車が、最新の医療技術を搭載し、地域社会の健康を守るため、日々発進しています。

協会の沿革

- 1955(昭和30)年 1月24日 ●神奈川県寄生虫予防協会が任意団体として発足
●寄生虫検査を開始
- 1959(昭和34)年 9月 ●胃がんのスクリーニングテストとして便潜血反応検査を開始
- 1962(昭和37)年 7月 ●腸内細菌検査を開始
- 1963(昭和38)年 6月 ●消化器検診を開始
10月 ●児童生徒腎臓病検診を開始
- 1964(昭和39)年 3月25日 ●財団法人神奈川県予防医学協会設立
7月 ●血清反応検査を開始

- 1966(昭和41)年 4月 ●児童生徒心臓病検診を開始
●一般健康診断を開始
●特殊健康診断を開始
- 1967(昭和42)年 10月 ●作業環境調査を開始
- 1968(昭和43)年 4月 ●児童生徒糖尿病検診を開始
- 1969(昭和44)年 1月 ●子宮がん検診を開始
2月 ●精密総合検診(人間ドック)を開始
- 1972(昭和47)年 4月 ●集団検診センター
横浜市金沢区鳥浜町に開所



約25,550日……一步一步、進んできた
70年の歳月を写真とともに振り返ります。

▶ 検査の前進

長期欠席児童の多くが腎臓病であることをつぎとめ、1963年に、児童生徒腎臓病検診（学校検尿）を開始しました。同年に胃がん、1969年に子宮がん、1996年にヘリカルCTを用いた肺がん検診など、医療技術の進歩とともに、最新テクノロジーを取り入れ、協会の検査技術も前進しました。1972年には、金沢区に集団検診センターを開所し、労働衛生関連の検査や作業環境調査の拡充をはかりました。寄生虫検査からはじまった歩みは、現在、母子保健、学校保健、地域保健、産業保健、環境衛生など、幅広い分野で活動を展開しています。

▶ 未来へ続く道

2026年早春、みなとみらい地区へ移転します。45年を過ごした現在の中区・日本大通ビルから、一步踏み出します。今はまだ、まっさらなフロアを“快適な健診環境”に作り上げるため、看護師、臨床検査技師、放射線技師、医師、保健師、渉外担当ら、協会で働く様々なスタッフが意見を交わしています。健診時の動線の見直し、プライバシーの配慮、受診者にも、スタッフにも、安全で快適な環境であること……、新拠点への準備は、協会が掲げる理念について、あらためて考え、実践するきっかけとなりました。たくさんの使命と希望とともに、協会は新たなステージへと歩みを進めています。

1973(昭和48)年	4月	●保健相談を開始
	11月	●水質検査開始
		●肺がん検診を開始
		●婦人検診を開始
1976(昭和51)年	11月	●先天性代謝異常症の検査開始
1979(昭和54)年	8月	●簡易専用水道検査を開始
1982(昭和57)年	3月	●大腸がん検診を開始
1989(平成元)年	5月	●健康づくりプログラムを開始
1992(平成4)年	4月	●腹部超音波検査を開始

1995(平成7)年	4月	●骨粗しょう症予防検査を開始
1996(平成8)年	4月	●ヘリカルCTによる肺がん検診を開始
1998(平成10)年	4月	●前立腺がん検診を開始
2003(平成15)年	3月	●ストレスチェックを開始
	11月	●血圧脈波検査開始(人間ドック)
2008(平成20)年	4月	●特定健診・特定保健指導開始
2012(平成24)年	4月	●公益財団法人の認定を受ける
2016(平成28)年	4月	●寄生虫卵検査が児童生徒などの健康診断の必須項目から削除される



すこしだけ
ご紹介

協会の仕事

健康づくりのパートナーが、
普段どのような仕事をしているか紹介します。

- 医師
- 診療放射線技師
- 健康運動指導士
- 保健師
- 企画部
- 情報システム部
- 業務部
- 広報（健康創造部）
- 臨床検査技師（代謝異常検査室）
- 臨床検査技師（生理機能検査）
- 看護部
- 環境科学部（作業環境測定）
- 運営部事務職（健診受付）
- 運営部事務職（電話予約受付）
- 検診事務部
- 情報処理部
- 総務部総務課
- 総務部経理課



医師

ってどんなお仕事？

豊富な専門知識で健康を支える

✓ こんな仕事をしています！

呼吸器、循環器、消化器、泌尿器科、婦人科などの専門医師による検診、人間ドックや各種健康診断などを多角的に実施しています。また外部企業等の産業医、公務員の健康管理医などを担当しています。

✓ この仕事を目指した理由、きっかけ

私は元々は外科医でしたが、その後県内のとある企業の専属産業医を34年勤めてきて、そのキャリアを望まれて当協会に就職しました。

✓ 仕事のやりがい、魅力

専属産業医の経験を基にしながら、神奈川県内の多くの大企業、中小企業、教員・公務員など今まで触れることのなかった多くの組織で働く方々のお話を幅広くうかがえて、とても勉強になっています。

✓ 神奈川県予防医学協会って、どんなところ？

私は2023年から当協会にお世話になっているのですが、とてもまじめな職員が多く細かい点までかなり気をつけているところなどが大きな長所であるという印象を持っています。しかし逆にこれが長い組織の歴史の中で細かすぎて融通が利きにくくなっているという欠点につながっているように感じています。そのような背景ですが、ユーザー（個人であっても、組織であっても）ファーストというマインドを多くの職員が



持っていると感じます。また神奈川県における老舗健診機関として可能な限り幅広い検診・健診ニーズに応えていこうという積極的な姿勢を持っていると思います。

✓ 医局って、こんな部署

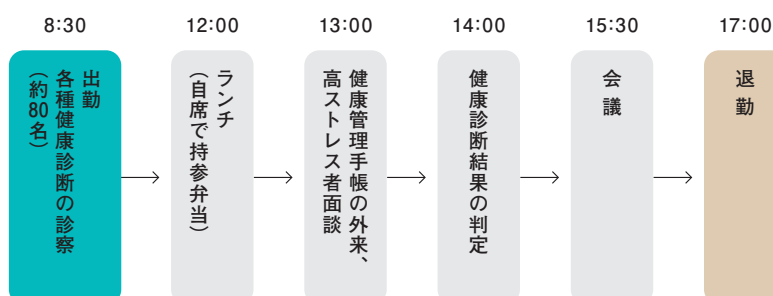
いろいろな医療機関において第一線で活躍されてきた医師が多く、専門知識が豊富です。そこに加えて多くの優秀な事務スタッフや医療スタッフに支えていただいているおかげで仕事が成り立っていると実感しています。

✓ ささやかな自慢

昔はアンダースローの投手でしたが、あちらこちらが痛くなりもう野球はできません。ですが、ある特定のプロ野球球団を一度も浮気することなく弱い時も強い時も長年応援し続けているところはささやかな自慢です。



医師のとある1日





診療放射線技師

ってどんなお仕事？

日々の研鑽が検査精度を高める

✓ こんな仕事をしています！

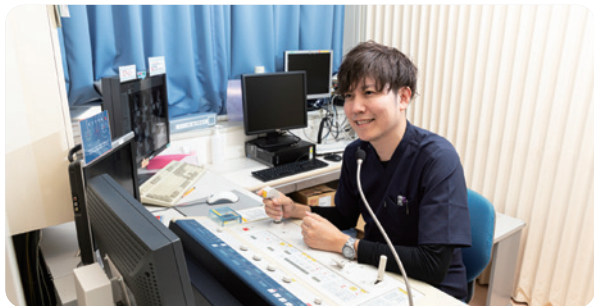
健康診断をはじめ5つのがん検診のうち、肺がん検診・胃がん検診・乳がん検診で実施されるX線検査に従事しています。がんの早期発見の一端を担うため、検査精度の向上を追求し日々研鑽に励んでいますが、検査を受けていただく方に安心・安全だと感じてもらえることを一番に心がけています。「ずっとここで受診したい!」と思っていただけのようなパートナーを目指しています。

✓ この仕事を目指した理由、きっかけ

祖母のすすめで放射線技師という職種を知り、漠然とカッコいい響きに惹かれ放射線技師を目指しました。今は自分の子供たちにカッコいいと思われることを目指しています。

✓ 仕事のやりがい、魅力

X線検査に限らず、どの検査も高い精度を得るには受けていただく方の協力があって初めて成り立つものだと思っています。



す。特にX線検査は息を吸ったり・吐いたり、動き回ったり、痛みを伴ったり…と多くの協力を求めることが多い検査です。検査後に「今日はすごく楽に検査が受けられた」と安堵の表情を見せていただけた時、やりがい・喜びを感じます。

✓ 神奈川県予防医学協会って、どんなところ？

自然体で仕事をしているイメージがあります。

✓ 放射線技術部って、こんな部署

ON/OFFがはっきりしている部署だと思います。ONのときは受診者目線を第一に真剣に話し合い、OFFの時は全員が会話の輪に入って談笑する、そんな部署です。

✓ あなたの得意技は何ですか？

得意技というのは大変おこがましいですが、胃部X線検査です。いつまでたっても修行の身です。それと…3合のご飯炊きの水量を1発で決められます！

✓ 実は、努力していること

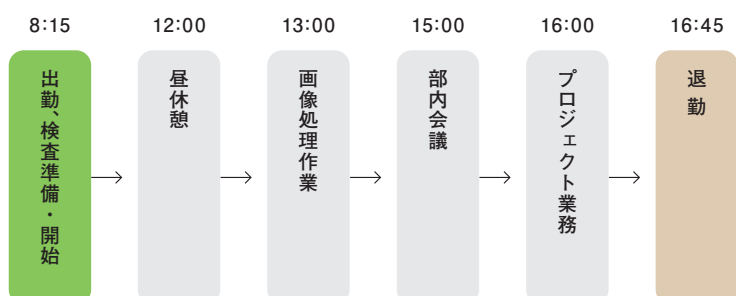
文章を書くことが上手くなりたくて、本を読むようにしています。

✓ 挑戦中のこと、挑戦したいこと

マニアックですが、胃部X線検査で用いる圧迫フツンの使用方法の基準を改変したいです。



診療放射線技師のとある1日





健康運動指導士

ってどんなお仕事？

人生に寄り添う運動指導

✓ こんな仕事をしています！

ずばり、体操のお兄さん…おじさんですね！契約事業所や地域のシニア向けの体操教室、パーソナルトレーニングなど、医師や保健師と連携し、依頼内容や特性に合わせたプログラムを企画し、実施しています。

✓ この仕事を目指した理由、きっかけ

野球一筋だった少年時代、肘を痛め、野球を断念。陸上競技に転向し、好成績をおさめるも今度は腰椎椎間板ヘルニア、さらには、競技のストレスからか過呼吸を発症。日本体育大学に進学後、スキーを通じてスポーツを楽しめるように。そんな中、ふと「自分の経験を活かして、将来は誰かの役に立つ仕事に就きたい」と漠然と考えるようになったことが、この仕事を目指すきっかけとなりました。

✓ 仕事のやりがい、魅力

数え切れません！ポイントを3つにしばると、①成長や変化を支える喜び：生活習慣の改善や目標達成に貢献できたときの達成感は格別です。②つながり：運動指導を通じて、さまざまな背景を持つ人々と交流し、それぞれの人生に寄り添えること。③情熱が活かせる：自らも健康的な生活を心がけるモチベーションになり、生活の質を向上させるきっかけになります。

✓ 健康創造部相談課って、こんな部署

健康創造部には企画課と相談課があります。健康運動指導



士が在籍する相談課は保健師ら、産業保健の実践者が集まる部署です。クラウドサービスを活用した健康管理システムの導入や、オンラインによる健康相談サービスの拡充など、新たな挑戦にも取り組んでいます。健康支援のモデルケースとなることを目指しています。

✓ 2025年の目標は？

富士登山。

✓ 挑戦中のこと、挑戦したいこと

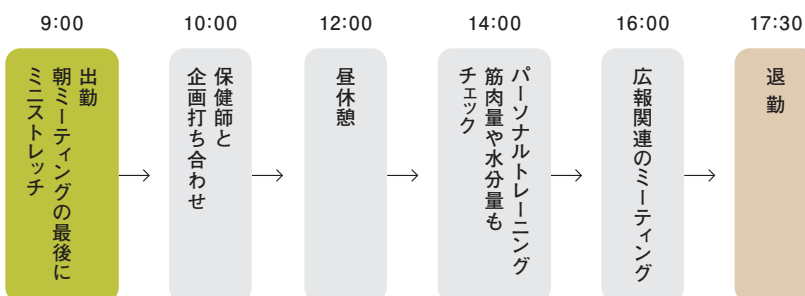
マッスルアップ（鉄棒にぶら下がった状態から上半身をバーの上まで直線的に引き上げる動作）に挑戦中です。

✓ ささやかな自慢

実家のお風呂は蛇口をひねると温泉が出ます。



健康運動指導士のとある1日





保健師

ってどんなお仕事？

働く人の幸せを健康面から支えたい

✔ こんな仕事をしています！

私が所属している健康創造部相談課では、企業内に健康管理室がない中小企業に対して産業保健業務を受託し、専任の保健師が年間を通して継続的な健康管理支援を行っています。企業を対象とする保健師を産業保健師と呼びます。産業保健師の主な活動として、健康診断の結果をフォローする事後指導や、お休みしている従業員の復職支援などを行っています。また看護師資格を持っていますので、心の健康状態と合わせて身体の状態も含めた相談にも対応しています。相談課では、「働くすべての人々が、その人らしく幸せになるために、健康を創造します。そして、人を大切にし、育みあいます」という理念を掲げています。企業で働く人の幸せを願い健康管理支援を行うとともに、私たち職員もお互いに協力して、助け合いながらより働きやすい職場を目指して活動しています。

✔ この仕事を目指した理由、きっかけ

看護師として働いている中で、病気が悪くなり入院する前に医療に繋がれることはできないだろうか考えるようになりました。働き盛りの方の健康に携わりたいと思い、保健師を目指しました。

✔ 仕事のやりがい、魅力

現在担当している事業所の保健師活動を通して、従業員の健康状態は、職場環境・人間関係・生活習慣などいろいろな要因が関係していることを学びました。事業所訪問や面談を

通して従業員の方から健康観・価値観を教えていただきながら、その方に合った支援を提供できるところが、保健師の魅力だと思います。

✔ 神奈川県予防医学協会って、どんなところ？

とても親切で、困ったら助けてくれる頼もしい人の集まりです。

✔ 健康創造部相談課って、こんな部署

明るくお話好きで賑やかです。

✔ 挑戦中のこと、挑戦したいこと

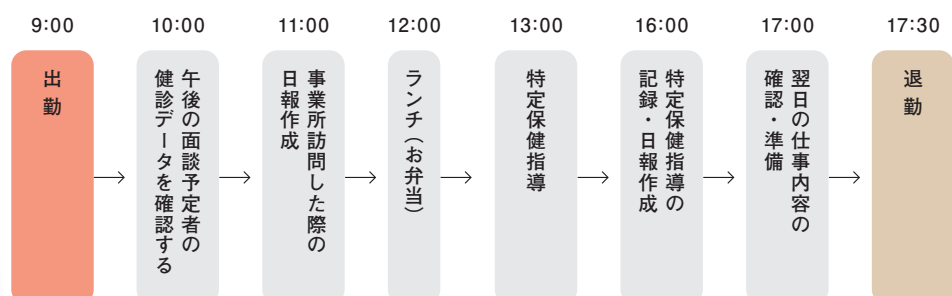
睡眠時間の確保！6時間は眠れるように管理しています。

✔ ささやかな自慢

手作り餃子の味は、お店並み？！



保健師のとある1日





企画部

ってどんなお仕事？

協会の事業展開を手がける

✓ こんな仕事をしています！

企業の成長や成功に向けた戦略的な計画立案や事務手続きの調整等の仕事をしています。

①市場調査・現状調査 ②プロジェクト管理 ③マーケティング ④財務計画 ⑤ミス対策 ⑥事務手続き準備

✓ この仕事を目指した理由、きっかけ

診療放射線技師として病院に勤務していましたが、がん治療の現場では進行がんの予後の悪さを痛感し、予防医学の重要性に気付いたことがきっかけです。早期発見・早期治療の大切さを身に染みて感じました。

✓ 仕事のやりがい、魅力

事業の全体像を把握し俯瞰してみることで、死角の無い事業展開が行われているか観察・検討するため、常に考える習慣が身につくと思います。

✓ 神奈川県予防医学協会って、どんなところ？

様々な職種の方が協力して事業を行っている場所です。部署間の情報のやり取りが密で、病院よりも組織的な仕事をしているところだと思います。

✓ 企画部って、こんな部署

パソコンと向き合い考え事の多い部署。



✓ あなたの得意技は何ですか？

即行動、イメージ記憶。

✓ 挑戦中のこと、挑戦したいこと

プロジェクトマネジメントや簿記などの資格取得に挑戦したい。

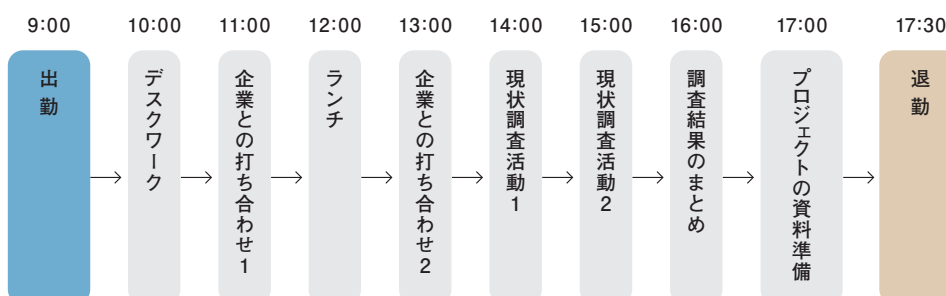
✓ 実は、努力していること

日報をつけています。

✓ 2025年の目標は？

現在進行中のプロジェクトを成功させること。

🔄 企画部のとある1日





情報システム部

ってどんなお仕事？

快適な診断環境づくりをITで担う

✓ こんな仕事をしています！

受診者の健診データを蓄積する基幹システムの運用保守、それ以外にもネットワークインフラや、その他協会内にある様々なシステムの運用保守を行っています。また、健診現場のスタッフや受診者がより快適に健康診断を行えるように、最新のICT技術を活用したイノベーションの提案やその導入にも携わっています。

✓ この仕事を目指した理由、きっかけ

IT系の勉強をして資格も持っていたので、情報システム部門での仕事を探していました。堅実そうな事業内容に惹かれ協会に興味をもちました。

✓ 仕事のやりがい、魅力

新たなシステムの導入や業務の改善は、一つの決まった答えがないので現場スタッフの意見や状況などを考慮しながら最適な答えを模索していく必要があります。苦労もありますが

その分やりがいも感じます。

✓ 神奈川県予防医学協会って、どんなところ？

古い歴史とともに培ってきた多くのノウハウがあり、新たな技術やイノベーションの導入も積極的に行っています。業界をリードできる存在であると思っています。

✓ 情報システム部って、こんな部署

ITスキルや、ITリテラシーは皆さん持ち合わせていますが、パソコンマニアのような人は意外といません。

✓ 挑戦中のこと、挑戦したいこと

最新のICT技術の導入とセキュリティ対策は、車の両輪として機能していくことが必要不可欠です。いち早く最新技術を取り入れるためにもセキュリティに対する知識を増やしていきたいです。

✓ あなたの得意技は何ですか？

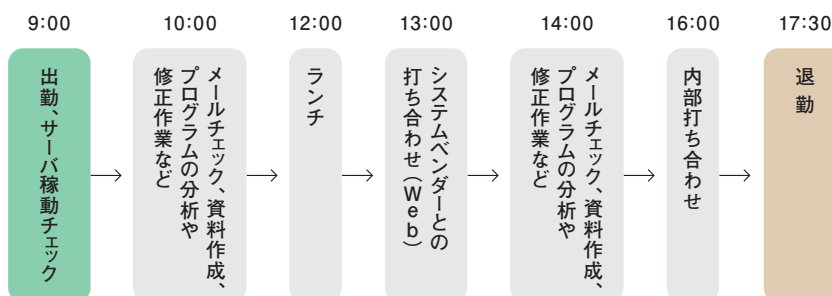
フットワークの軽さです。

✓ 実は、努力していること

より良いシステムを築くには、深く現場を理解している必要があると考えているので、現場百遍を意識して現場スタッフの意見集約と現場での実物確認を大切にしています。



情報システム部のとある1日





業務部

ってどんなお仕事？

協会の「顔」としてお客様に寄り添う

✓ こんな仕事をしています！

お客様と協会の間に立ち、協会事業の運営を担う対外的な窓口として渉外業務を行っています。健康診断を円滑に実施するために、関連部署と協力をしながらお客様の健康管理のお手伝いをしています。業務部は、協会の事業を拡大するために、企画立案や新規のお客様への渉外活動、予防医学事業の啓発活動など様々な役割があります。対外業務が多いので、たくさんの方に顔を覚えてもらえるようになり、予防医学協会の「顔」として活躍する事ができる、活動的な部署になります。お客様の会社ごとの健康課題に向き合い、寄り添って一緒に解決していくことがとても重要であり、長く選んでいただける健診機関になるべく、営業担当同士が協力をしながら助け合いができる、チームワークの良いところが、業務部の好きなおところです。新しい若いメンバーも増えて、ますます活動的な業務部が、協会の先頭に立ってこれからも頑張ります。

✓ この仕事を目指した理由、きっかけ

自分自身の健康で気になる事があり、運動や食事の事など



調べている時に、「予防」の大切さを知って、予防医学に興味を持ちました。「営業」については、個人セールスのような、比較的短いお付き合いになるような営業よりも、長くお客様と向き合っていくことができる健診業界の営業スタイルにとっても魅力を感じました。

✓ 仕事のやりがい、魅力

いろいろな業種の会社を担当しますので、それぞれの業界の特徴や意外な知識など、面白い情報をたくさん知る事ができます。健診で会社に向った際は、採血の待ち時間などで従業員の方からお声をかけていただいたり、お話好きの人にはとても魅力的だと思います。新規のお客様で、一から健康診断を作り上げていく時は、各関係部署と協力をしながら、準備を進めて行くなど、チームワークの中心的な部署として活躍できるので、大変ですがやりがいのある仕事です。

✓ 神奈川県予防医学協会って、どんなところ？

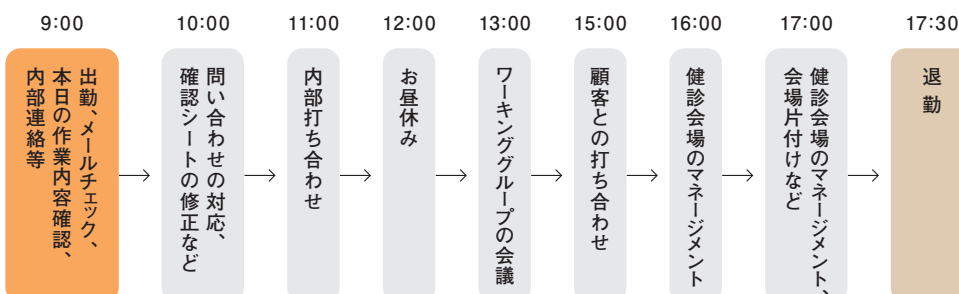
サーフィン、ランニング、登山など健康的な趣味を持っている人が多いです。女性職員が多く、管理職として活躍している方がたくさんいます。

✓ 挑戦中のこと、挑戦したいこと

ペーパーレス化を目指し、受診票レス健診の検討ワーキンググループで、仲間と一緒に目標に向かって頑張っています。個人的な事では、南アルプス登山に挑戦したいです。



業務部のとある1日





広報（健康創造部）

ってどんなお仕事？

あらゆる手段を駆使した情報発信！

✔ こんな仕事をしています！

広報誌「健康かながわ」、社内報、事業年報、パンフレットなどの作成のほか、Webサイトの更新やデジタルサイネージなどの動画制作、メールマガジン、SNSでの情報発信を行っています。協会の事業、活動を広く知ってもらうために、デザインや文章をチームで何度も検討します。また、医療機関として、正確な情報を届けるために、確認作業も念入りに行っています。今後はWebサイトの充実やSNSも積極的に発信できるように検討中です。協会の広報担当として、どんなことができるか、新しい広報のあり方を模索しています。

✔ この仕事を目指した理由、きっかけ

元々健康オタクです。TVでこの食べ物が良いと聞けば、すぐに実践していました。それがきっかけで、健康で生涯を過ごすにはどのような生活をしていけばよいのか…、日々の暮らしに大切なことを、信頼できる情報として発信したいと思い、この仕事を目指しました。

✔ 仕事のやりがい、魅力

医療や健康、誰かの役に立つ情報を発信できることです。編集者、カメラマン、デザイナー、ライター、様々な業種の方たちと協力しながら、時に締切にヒリヒリしつつ、制作物が形になると達成感があります。また、デジタルマーケティングやSNSなど、最新の広報手段を活用するため、新しいスキルや知識を身に付ける機会があります。



✔ 神奈川県予防医学協会って、どんなところ？

穏やかで、真面目な人が多いです。落ち着いて仕事ができます。

✔ ささやかな自慢

おそらく嗅覚が人一倍鋭いです。生まれつき……かどうかは分からないのですが、物心がついたときから匂いにうるさいです。家の枕カバーは常に清潔です。

✔ 挑戦中のこと、挑戦したいこと

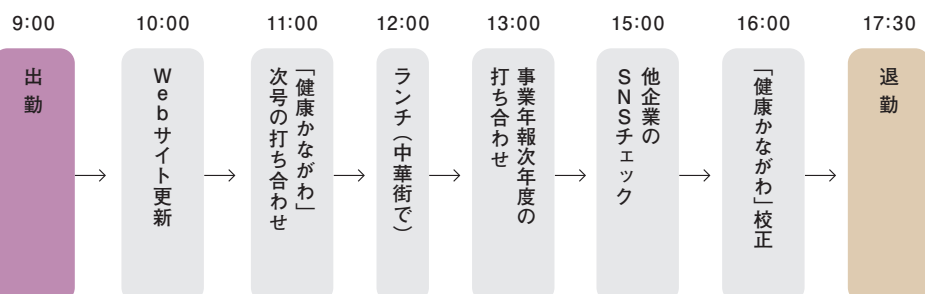
動画撮影、タイムラプス撮影。

✔ 実は、努力していること

様々な媒体に目を通し、どんな工夫をしているか、協会に取り入れられそうなことはないかなど、日々チェックしています。



広報(健康創造部) のとある1日





臨床検査技師（代謝異常検査室）

ってどんなお仕事？



神奈川県で生まれたすべての赤ちゃんの検査を担う

✓ こんな仕事をしています！

神奈川県内で生まれた生後4～6日目のすべての赤ちゃんを対象に新生児マススクリーニングという検査を行っています。先天性代謝異常などの疾患やその疑いを早期に発見し、発病する前から治療ができるようにすることを目的としています。医療機関で赤ちゃんのかかとから、ほんの少しの血液を検査用紙に採り、当協会ですべての検査、結果報告書の送付まで一連の業務を、検査と検査事務に分かれて実施しています。

✓ この仕事を目指した理由、きっかけ

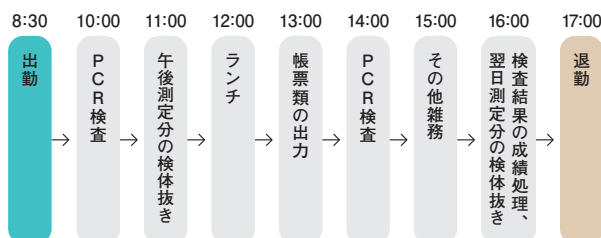
前職では、理化学検査に関するHPLC※（高速液体クロマトグラフ）を使用した仕事をしていたので、その経験が活かせると思いました。また、代謝異常は、症状が現れる前に、命に関わる病気を発見することで、早期に治療を開始できます。新生児や、ご家族の将来を守ることに貢献できると思い、この仕事を目指しました。

※液体の成分を分離・検出する

✓ 仕事のやりがい、魅力

代謝異常に関する検査は、専門的な知識と技術が必要です。検査技術を駆使して、正確な診断情報を提供し、早期発見・早期治療の一助になることに魅力を感じています。

🕒 臨床検査技師のとある1日



臨床検査技師（生理機能検査）

ってどんなお仕事？



多岐に渡る検査を迅速かつ正確に

✓ こんな仕事をしています！

生理機能では、心電図・聴力・眼底撮影・肺機能・腹部超音波・頸動脈超音波・乳腺超音波・血圧脈波など多岐に渡った検査をしています。健康診断などとにかく検査項目が多いです。

臨床検査技師は、これらの検査機器を操作し、日々たくさんの受診者の検査を実施しているので、結果を迅速かつ正確に記録する役割を担っています。また、受診者に直接接して検査をしているため、接遇にも気を付けて仕事をしています。

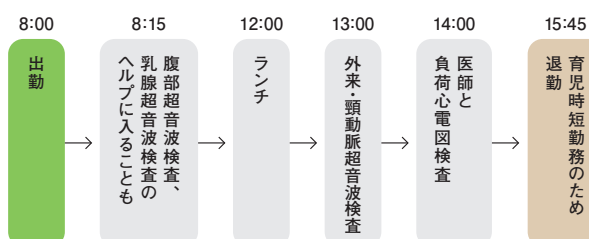
✓ この仕事を目指した理由、きっかけ

生理機能に関する検査は、疾患の早期発見や、予防に繋がる重要な役割を担うため、受診者の健康をサポートできることに魅力を感じました。また、常に新しい知識と技術を学びながら自分自身も成長できることが臨床検査技師を目指す動機となりました。

✓ 仕事のやりがい、魅力

病気の早期発見・予防に貢献できることに魅力を感じています。受診者に「ここで病気を見つけてもらった。ありがとう」と感謝の言葉をいただいたことがあり、今でも忘れられません。

🕒 臨床検査技師のとある1日





看護部

ってどんなお仕事?



受診者の安心と安全を守る

✔ こんな仕事をしています!

私が携わっている婦人科では、子宮頸がん検診や乳がん検診での診察介助を行っています。検体を採取する際は、「受診者の安全と確実な検体採取」を念頭に日々マニュアルを見返し、手技の見直しを行っています。婦人科では不安な思いで受診される方も多く、あたたかい雰囲気づくりも大切です。そのためにはチームワークをよくし、なんでも相談、報告ができる職場づくりを心掛けています。

✔ この仕事を目指した理由、きっかけ

一人ひとりが、ご自身の体と向き合いながら、それぞれのライフステージを過ごしていただくサポートをしたいと思ったからです。

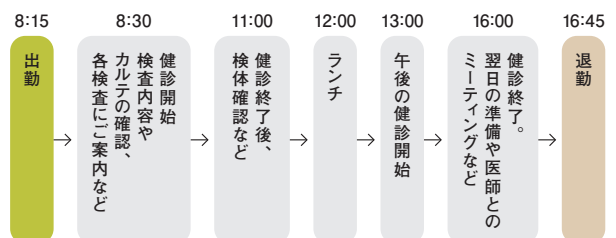
✔ 仕事のやりがい、魅力

受診者のお役に立てること、笑顔で帰っていただけること、ありが

とうと言われること、医師やスタッフと円滑にコミュニケーションをとって業務をやり遂げた結果、一日の仕事が無事に終わることなど数えきれないほどあります。

また、受診者や、医師、スタッフと深く関わりながら、自己の成長や社会貢献を実感できるため、やりがいのある仕事です。

🕒 看護部のとある1日



環境科学部 (作業環境測定)

ってどんなお仕事?



職場と生活環境に関わる検査

✔ こんな仕事をしています!

健康診断における代謝物等検査、神奈川県全域の簡易専用水道検査など、作業環境測定の健康管理に役立つ業務を担っています。個々のお客様への健康管理に貢献することを目指して、作業環境測定結果と代謝物等検査結果を結びつけ、新しい仕組み作りを日々試行しています。また、近年の法改正により、リスクアセスメント対象物質が増えたため、新しいニーズに対応するべく環境科学部全体で検討しています。

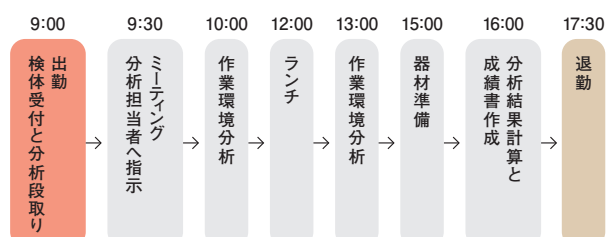
✔ この仕事を目指した理由、きっかけ

学生の頃から化学と分析が好きで、人の役に立つことを仕事にしたいと思っていました。協会で就業することになり、作業環境測定士を取得しました。

✔ 仕事のやりがい、魅力

作業環境測定は専門性が高く内容も奥深いため、常に新しい学びがあり、飽きることが全くありません。新しい対象物質が増え、測定方法・分析方法も進化し続けています。私は測定士になって日が浅いため、これからも学ぶことがたくさんあるので楽しみです。

🕒 環境科学部のとある1日





運営部事務職（健診受付）

ってどんなお仕事？



スムーズな健診は受付から

✓ こんな仕事をしています！

私が担当している受付業務の仕事内容は、受診内容や保険証の確認、検体や指定用紙のお預かり、着替え案内、精算、次年度予約の受付から、受診者のお出迎え、お見送りまで行っています。また、健康診断の結果で再検査が必要となった場合には、外来予約の受付を行っており、受診者の印象に残る重要な役割を担っています。

✓ この仕事を目指した理由、きっかけ

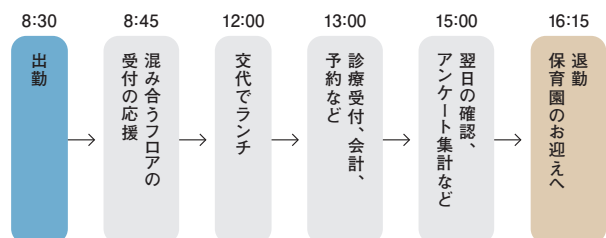
前職は介護職についていて、日頃から「健康で元気に過ごしたい」という思いと、健康を維持する事の難しさを痛感していました。「予防医学」という言葉に興味を持ち調べていく中で、神奈川県予防医学協会を知りました。

さまざまな専門職の方と関わりながら、社会貢献ができる協会の一員として働きたいと思い希望しました。

✓ 仕事のやりがい、魅力

臨機応変な対応や、状況に応じた判断力を身につける事ができました。また、身につけた知識を受診者に提供し、喜んでいただく事や、受診者から直接「ありがとう」と感謝の言葉をいただける事が最大の魅力です。

🔄 運営部事務職のとある1日



運営部事務職（電話予約受付）

ってどんなお仕事？



健診の日程管理から電話受付まで

✓ こんな仕事をしています！

個人向けの人間ドック・健康診断の予約・日程変更や、企業の事業所単位の契約業務などを主に行います。

中央診療所では多い時期で、1日当たり約500名ほどの健診を受け入れるため、年間を通して施設健診全体の日程管理を他部署と連携して調整しています。また、電話や受診者の対応を行っているため、職場内は常にザワザワしていて活気があります。忙しいため、一日があっという間です。

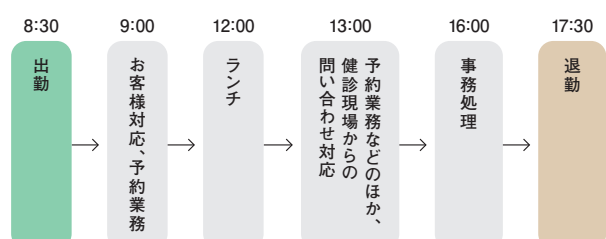
✓ この仕事を目指した理由、きっかけ

自分自身が病を患い、入退院を繰り返した事で、医療・健康について考えるようになりました。早期発見の大切さを受診者へ伝えるべく、健康診断をご案内できる一番の窓口として、携わりたいと思った事がきっかけです。

✓ 仕事のやりがい、魅力

私たちの部署は、受診者だけでなく、医師や医療職との関わりも多く、毎日様々なやり取りがあります。いろいろな場面に遭遇し、対応していくことは時に難しい事もありますがとても勉強になり、やりがいを感じています。

🔄 運営部事務職のとある1日





検診事務部

ってどんなお仕事?



検査キットの組み合わせは何千通り!?

✓ こんな仕事をしています!

健康診断を予約すると手元に受診票と検査キットが届くと思います。受診票と検査キットを発送することが私達の仕事です。個人情報保護が大切な現代だからこそ、送付する際に注意点がたくさんあります。氏名、住所、封入物に間違いが起きることはあってはならないことです。単純作業のようにみえますが実はひとつひとつに違いがあり注意が必要な仕事です。

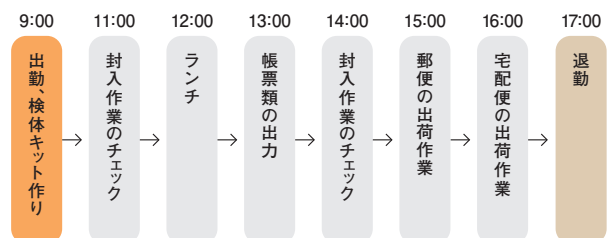
✓ この仕事を目指した理由、きっかけ

健康診断を受診する理由は病気の早期発見だと思います。会社員は毎年、健康診断にて健康状態の把握に努めているはずですが。自分自身が過去に病気を経験したこともあり予防医学の発展を間近でみたいと強く思うようになりました。健康や予防意識の向上へと繋がればと思い志望しました。

✓ 仕事のやりがい、魅力

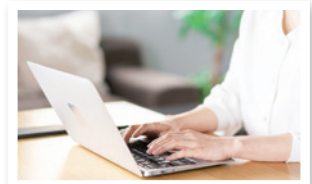
受診票、案内や注意書き、検査キットの組み合わせは何百通り何千通りにもなります。納期を気にしながら皆で力を合わせ受診票を送り出すことができた時は達成感があります。

🔄 検診事務部のとある1日



情報処理部

ってどんなお仕事?



わかりやすく見やすい健診結果を届ける

✓ こんな仕事をしています!

児童生徒の腎臓病検診、心臓検診などの学校健診、労働安全衛生法に基づく会社の健康診断、人間ドック、地域住民のがん検診など、多岐にわたる健康診断の結果を報告書にとりまとめ、お客様へお届けしています。また、協会概要、各がん検診の年間集計資料作成、協会事業の実績や動向の記録である「事業年報」の各種事業実績数などの統計作成も行っています。

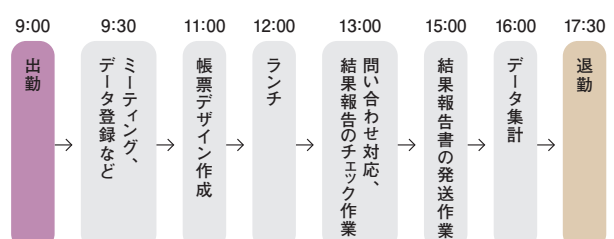
✓ この仕事を目指した理由、きっかけ

お客様の大切な情報である、健康診断結果を取り扱うお仕事への責任とやりがいを感じたため、この仕事を目指しました。また、健康支援サービスに携わることで、社会貢献につながると思い協会を希望しました。

✓ 仕事のやりがい、魅力

わかりやすく見やすい結果報告のための帳票レイアウトやデザインを行うなど、健診後のフォローまで結びつく幅広い仕事に挑戦することができます。また、時代の変化とともに求められているペーパーレス・IT化においても、DX推進に力をいれています。

🔄 情報処理部のとある1日





総務部総務課

ってどんなお仕事？



安心して働ける職場作り

✓ こんな仕事をしています！

総務部には総務課と経理課があり、私が所属している総務課の仕事は、求人や採用業務を行う人事関係、勤怠管理や各種保険手続き等を行う労務関係、法人運営に関わる業務から個人情報保護に関すること、職員の健康管理に関わる業務、消耗品や資産関係の管理、職場内の設備やオフィスの管理等、幅広い業務を任されています。職員のインフルエンザワクチン接種を滞りなく行えるように、接種会場のセッティングや、接種する職員の人数管理なども行います。

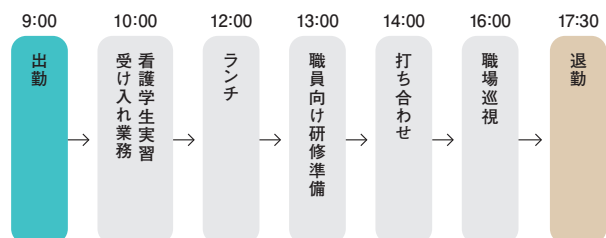
✓ この仕事を目指した理由、きっかけ

直接的な利益には関わりませんが、重要な役割を担うバックオフィス業務の経験を活かし、仕事の効率化や職員が安心して働ける職場作りを目指したいと考えました。

✓ 仕事のやりがい、魅力

様々な業務を並行して行い、それをすべて終わらせた時に達成感があります。また、他部署の職員とも接する機会が多く、仲良くなることがあります。色んな分野の方と一緒に仕事ができ、知識が広がります。

🕒 総務部総務課のとある1日



総務部経理課

ってどんなお仕事？



分析や管理で協会を支える

✓ こんな仕事をしています！

協会に関わる入金や支払等の作業・管理、決算書作成、経理システムへの入力作業、帳票確認、他部署との打ち合わせなど、業務は多岐にわたります。裏方として協会のサポートを行う部署です。デスクワークが中心なので、こまめにストレッチをしたり、エレベーターではなく、階段を使うことを意識しています。

✓ この仕事を目指した理由、きっかけ

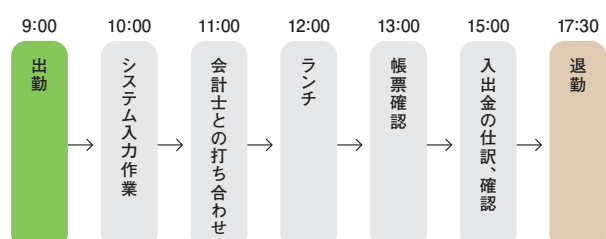
公益性の高い健診事業を通じて、社会に貢献していきたいと考えたためです。分析や管理で協会の運営を支えることができると考え、ひいては、そうした日々の業務が社会貢献につながることに魅力を感じました。

✓ 仕事のやりがい、魅力

協会の業務をサポートするうえで、各部署の職員とのコミュニケー

ションを大切にしています。その結果、自然と健診施設ならではの知識も増え、自分の健康にも気を配るようになりました。また、法改正などに対応するため、日ごろから情報のアップデートを心がけています。税務関連の最新情報のチェックも欠かしません。

🕒 総務部経理課のとある1日



協会の先達が 70年を振り返る

協会は今年、創立70年を迎えました。

1955年1月、10人の職員と3台の顕微鏡から出発した協会は、今では400人超の職員と先進機器で健康をサポートする健診機関へと大きく変貌を遂げました。決して平坦な道のりではなかったこの70年を、協会とともに歩んだ職員がいます。森雄一(88)は、協会発足の年に入職し、検査技師としてキャリアをスタートさせました。森のたどった道はまさに、協会の70年の歴史そのものでした。これまで森が寄稿した記事や談話をたどり、協会の草創期から現在に至るまでの歩みをひもときます。



森雄一
(もり・ゆういち)

1936年生まれ、1955年4月入職。現在は専門委員として在籍。

はじまりは、寄生虫予防

70年前といえば、終戦から10年が過ぎた1955年。当時、横浜市中心部には米軍のカマボコ型兵舎が並び、市内を米兵が闊歩し、焼け残った主要なビルは駐留軍に占領されている、まだそんな時代でした。

そうした時期に発足したのが神奈川県寄生虫予防協会、神奈川県予防医学協会の前身です。

当時、寄生虫の蔓延状態はひどく、知識の普及や検査などの対策が急務でした。そのころの協会は、お金も、場所もなく、あるのはただ職員らの熱意のみ。1955年1月、どうにか県衛生研究所の片隅を借り、寄生虫検査ははじまりました。

寄生虫検査はもちろん、渉外活動、統計調査、機関誌の編集業務、閑散期には統計学などの勉強会が開かれ、切磋琢磨の日々が続きました。

寄生虫検査をはじめてみると、検査、駆虫、再検査…と実施していくほどに、検査が効果をあげていることが確認できました。その結果、発足からわずか数年で、みるみる寄生虫感染率が下がるのが見てとれました。近い将来、検査は不要になると協会の誰もが確信しました。それは同時に、いずれこの仕事がなくなることを意味しました。達成感とともに、矛盾を抱えていたのです。

そうした背景のもと、1963年に中央診療所を開設。さらに、翌1964年には全国初の予防医学協会を設立。そしてついに、発足から15年後の1970年、寄



試行錯誤の日々を 積み重ね



生虫予防協会は、その役割を全うし、解散。神奈川県予防医学協会へと一元化しました。

働く人の健康を守る 特殊健康診断

1963年、寄生虫検査と並行して、胃がん検診や全国に先駆けた学校検尿を開始。1966年に、終わりが見え始めた寄生虫検査にかわる業務として、事業所の一般健康診断と特殊健康診断の模索がはじまりました。

特殊健康診断は、鉛や有機溶剤、特定化学物質を扱うなど、健康上のリスクを伴う業務に携わる労働者を守るためのもの。検査には特別な分析機器や設備が必須でした。しかし、協会には技術力や設備が不足していました。そこで、当初、森が横浜市立大学衛生学教室の指導を得ながら、同教室の測定機器や試薬を借りて検査を行いました。

その後、1972年に横浜市金沢区に、協会の検査・分析拠点となる集団検診センターが完成。設計に関わった森は当時をこう振り返ります。「分析室を作り、欲しかった機器が設置されたときは本当にうれしかった。援助を受けながら、少しずつ機器を充実させて、協会独自で様々な検査や分析ができるように。作業環境測定や水質検査などの化学分析、病理学的な検査も加わりました。ここまでくると、私はもう最前線にすることはできない、これからは若い人たちの勉強の場を作ることで協会の力になろうと考えました」

神奈川県で生まれるすべての赤ちゃんへ

寄生虫検査からはじまった協会は、労働者、児童・

生徒、地域の健康診断、作業環境測定、水質検査などを通じて、神奈川県で暮らす皆さまとともに歩んできました。その中には、母子保健も含まれます。赤ちゃんに先天性代謝異常などの疾病がないかを調べる新生児マススクリーニング検査（先天性代謝異常検査）は、生まれつき必要な酵素が欠けていたり、ホルモンの分泌が足りないことが原因でおこる様々な病気を調べる検査です。出生時の早い時期に発見し、適切な治療につなげます。協会は、県内で生まれるすべての赤ちゃんの検査を担当しています。

昨年10月には、県やこども家庭庁などが実施する「新生児マススクリーニング検査に関する実証事業」が開始しました。協会は検体検査機関として、この事業に協力しています。赤ちゃんの健康を守ることも、協会の大切な役割として、受け継いできたことのひとつです。

70年の、その先へ

振り返ると、協会の70年は、挑戦の連続でした。

森は協会と歩んだ年月をこう話します。「新しい検査をはじめるときに苦労して勉強して、それがいつしか協会の糧になってきた。努力して、乗り越えたことは、必ず県民の皆さまに還元できると信じて今日までやってきました」

かつて、寄生虫予防が時代のニーズだったように、健康や予防医学への課題は、めまぐるしく変化し続けます。70年のその先に向けて、神奈川県予防医学協会の挑戦は続きます。

2026年早春、 協会はみなとみらいへ 移転します

より快適な環境で、皆さまの健康づくりをサポート。
移転に関する詳細情報は、協会の公式Webサイト・SNS等で
随時お知らせいたします。





ACCESS／ 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-3-3 横浜コネクトスクエア 4階
みなとみらい線 みなとみらい駅徒歩4分
JR根岸線・横浜市営地下鉄ブルーライン 桜木町駅徒歩7分

社会貢献活動

地域社会に貢献することを目指し
様々な活動を展開しています

1

タバコの手で苦しむ人を減らしたい

禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議

本会は、タバコと健康についての啓発活動を行う目的で、1999年11月5日に発足しました（発足時名称「禁煙、分煙活動を推進する神奈川会議」2016年改称）。神奈川県予防医学協会は従前より健康のリスクファクターとしてのタバコ対策に取り組んできたこともあり、設立時より本会の事務局を担当しています。

会員は、医師、歯科医師、薬剤師、看護師等の医療従事者をはじめ、教育関係者、法曹界、マスコミ、地方議員等多岐にわたっており、県民あがての禁煙・受動喫煙防止に向けて活動を展開しています。（2024年3月31日現在、個人会員125名、賛助法人会員9法人）

2010年に神奈川県では全国に先駆けて「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」が施行

されましたが、まだ受動喫煙についての理解もあり広がっていない時でもあり、本会もその成立に積極的にバックアップしてきました。

2008年に「第17回日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会」、2018年に「第27回 同学術総会」、2023年に「第17回日本禁煙学会学術総会」を本会が担当して横浜で開催し、タバコ対策の情報を全国に発信しました。

2019年に、松沢成文参議院議員（元神奈川県知事）など来賓をお招きして創立20周年式典を開催し、25年が経過しました。

現在、教育現場や職域での喫煙防止への取り組みに協力し、講師の派遣や禁煙教育の開催、イベントなどでの禁煙相談を行っており、県民の健康を守りタバコの手で苦しむ人を一人でも減らしたいとの思いで活動を行っています。

2020年に改正健康増進法が施行され、受動喫煙防止対策は全国的に拡大しましたが、まだ喫煙率の更なる低下や、加熱式タバコ等の新型タバコへの対応などの課題が残されています。



2

あなたとあなたの大切な人を守るために

—ピンクリボンかながわ18年の活動—

ピンクリボンかながわ事務局

乳がん検診開始当初、47都道府県の下位であった神奈川の検診受診率を改善したいと、事務局を神奈川県予防医学協会に置きピンクリボンかながわの活動を2006年から開始しました。

乳房モデルを使ったしこり体験や自己触診（ブレストアウェアネス）のレクチャーを軸に行政・企業・団体等と連携、ブース活動やピンクリボン自販機・マット・ウォーターボトルを作っていただくなど多くのご支援をいただいています。

神奈川県からのマンモグラフィ検診車貸与を機に2009年からピンクリボンライトアップ事業を展開、2022年から専門学校生にポスター・リーフレットのデザインを依頼、関連団体とも連携を強化し協力施設が大幅に増えて、15年目となる2024年は71ヶ所がピンク色に染まりました。若い人にもピンクリボンの意味を浸透させたいとSNSでのフォトコンテストを2023年から実施、400を超える写真の応募があり、それぞれの「ピンクリボンへの想い」



様々なイベントへの出展や、ピンクリボンライトアップによる啓発活動も実施



が表現されています。

コロナ禍では「検診は先送りせず習慣に」とのメッセージ動画を制作・配付し、今後は若い力が必要であると女子大学学園祭でのイベントを毎年開催、がん予防レシピの提案やSNSで乳がんに関する発信をしてもらいました。

乳がんで亡くなる人を一人でも減らすため検診受診率向上を目指して、これからも支援団体、若い世代とともに啓発活動・正しい情報発信に取り組んでまいります。

3

受動喫煙の無い環境を目指して

スモークフリー推進かながわ基金

本基金は、全国に先駆けて制定された「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」（2010年4月施行）の円滑な施行や、受動喫煙による健康への悪影響の防止対策及び自らの意思で受動喫煙を避けることができる環境の整備を促進するため、2009年8月に5団体及び県の呼びかけにより設置されました。設立時より神奈川県予防医学協会が県に協力してその事務局を引き受けてまいりました。

民間と県の協働による受動喫煙の防止対策の一層の推進と、「スモークフリー」を本県から全国に

発信し、社会全体のルールとして定着させるための事業を実施いたしました。

2020年4月に改正健康増進法が全面施行され、受動喫煙に関するルールは社会全体のルールとして法により整備されたことから、本基金の目的は達成され、役割を果たしたものととして、2023年度末に本基金は解散しました。



職員が考える
協会の
これから

創立70年を迎えた協会の強みとは、
直面する課題とは…
“協会のこれから”を担う職員が
今後の展望を語ります。



70年の信頼を守るために

今回、執筆依頼をいただいたテーマについて、自分が今後の展望を語っていいのか、正直なところ少し戸惑いもありました。しかし、この機会に一職員として協会の未来を考え、自分が感じることをお伝えできればと思います。

協会は今年の1月24日で創立70年を迎えました。70年…私には想像しがたいほどの年月で、過去の写真を見るとまるで歴史の教科書のように、協会がどれだけの歴史を歩んできたのかが伝わってきます。寄生虫事業から始まり、時代の変化に合わせて協会も変化・発展を重ねてきました。現在では、県民の『生涯の健康パートナー』として、70年の歴史と信頼性を持つ健診機関であることが協会の強みだと感じています。

しかし今、協会にはいくつかの大きな課題があります。その一つが人手不足とデジタル化の遅れです。健診業界全体ではまだデジタル化が進んでいないと感じていますが、その背景には主な受診者が年配層であることがあるかもしれません。しかし今のシニア世代もデジタル化が進む中で、オンライン予約やデジタルの間診票・結果票といった利便性を求める声も増えてきています。

また、健診は法律によって実施が保障されてきたため、以前は集団健診が主流でしたが、現在は個人が健診機関を選べる時代へと変わりつつあります。今後は『選ばれる健診機関』になることがますます求められると思います。

さらに、柔軟な働き方やデジタル化による効率化も欠かせないと感じます。協会が今後も社会に貢献するためには、職員の働きやすさを見直すことが重要です。ITを活用した効率的な業務フローの構築を進め、職員一人ひとりが力を発揮できる環境を作ること、人手不足の解消にも繋げていく必要があります。

そして、協会は2026年の早春に新しい拠点へ移転し、みなとみらい地区でさらに進化することを計画しています。大きな変化には不安もあるし、手間もかかると思います。しかし、みんなで力を合わせて乗り越えていきたいと思っています。

この70年で積み上げた信頼を土台に、デジタル化や新しい働き方へのシフトを促進し、より多くの人々に選ばれる健診機関を目指して、皆で協力し合っていきたいと感じています。

業務部 | 豊田晃史 Koji Toyoda

2010年入職、渉外担当、新施設移転に伴う広報関連業務のリーダーを務める



要・精密検査 要・再検査を
そのままにいませんか？



神奈川県予防医学協会の

二次検査

健診結果に「要・精密検査」「要・再検査」とあったら、

二次検査を受診することが大切です。

神奈川県予防医学協会では、二次検査も実施しています。

受診の流れ

1 | 電話にてご予約受付

2 | **来診** 「二次検査」を実施

3 | **来診当日** 結果説明
一部の検査は後日の説明となります。

問題がない場合

- 次年度の健康診断を受診

治療が必要な場合

- 当協会の専門外来にて治療
- 大学病院、各領域の専門病院、地域の医療機関に紹介

健康保険証をご持参ください。検査は保険適用されます。

ご予約・お問合わせ

運営部

☎ 045(641)8814

月～金曜日（祝日を除く）
9時～12時、13時～17時